

令和5年度第1回 養父市立図書館協議会

と き 令和5年10月3日(火)

午後2時～

ところ やぶ市民交流広場 大会議室

出席者

有本正彦氏(山田風太郎記念館事務局長) 木戸朝子氏(関宮)
松下玲子氏(建屋) 宮本裕美氏(養父)
岡本雅子氏(大屋) 鷹野恭子氏(八鹿)
圓山茂夫氏(八鹿) 増田真知子氏(宿南小学校長)
守本加代子氏(社会教育委員)

図書館側 田村典嗣(館長) 上垣卓也(副課長) 毛利真優(司書)

欠席者 池田ビルギット氏(八鹿)

報告

利用実績(各月ごとの貸出人数及び貸出冊数)

分館の予算配分を変更した。分館への配分を充実させるため。

図書カードをふるさと納税の返礼品にすることについて やぶぐらし課に打診。カードは原則無料なので、それに見合うものを返礼品とする。もう少し考える余地ありとの返答。

市民に図書館を周知するためのCM 情報課と打合せ中。

郵便局との連携 なかなか難しい。日に一度、各図書館に返本の配送を頼めないか提案をしている。

関宮の貸出が伸びている。各賞の受賞作本や絵本を充実した効果か。

貸出者数、貸出点数が増えている。昨年度の実績を上回っている。

委員 1,000万円ですどれくらいの本が購入できているのか?

副課長 分類ごとには出てないが、総数で現在、八鹿で832冊。3分館で1098冊。

館長 関宮分館が旧関宮メリヤスへの移転のため、10月から2カ月休館する。養父分館は、書架を変えて所蔵を増やせるようにした。大屋分館は、動きやすい動線にするため書架の移動を考えている。司書の件は、結果的に1名減った。そのあと、司書ではない職員を1名増員した。

委員 広谷の閉架書庫の重複図書と、本館の今まで寄付を受けた本で書架整理されていない本を人海戦術的に整理する。市民から寄付された本で捨てられないものについては、告知するなどして処分するように考えてほしいと前回言わせてもらったが、そのあたりの整理は進んでいるか。

事務局 徐々に進んでいる。文化祭で雑誌のリサイクルを行っているが、複本等の処分も出していく。郷土資料も徐々に書架に出している。優先的に出したい郷土資料は、協力者に手伝ってもらっている。

委員 一番大変なのは、書誌がないものを書名から概略などを入力すること。滞っている本の処理は、専門職大学の学生に実習期間に来てもらうようなことができないか。問題が解決すれば、一般の本の寄付も始められるのではないか。たまっている本の処理がクリアできれば、次の段階に行けると思う。

新着本を検索するとパソコンはスムーズにできるが、スマートフォンは10回のうち5回はフリーズする。業者になんとかしてもらいたい。アクセスが集中しているのかもしれないが。

事務局 そういう状況だということは伝える。

会長 わずかでもいいのでボランティアに報酬が出ないか。大人の読み聞かせは、高齢者の方にここに来てもらえるのが難しい。子ども、高齢者と順番を変えるとか、地域から公民館を通じて依頼があれば出張する方向も考えている。八鹿高校へも読み聞かせの指導を行っている。図書ボランティアが公民館を拠点に地域に出るようにしている。

委員 3つある。一つ目は、登録作業について、学生のアパートや専門職大学の単位になる実習として来てもらえないか。個人情報の取扱いは別に考える。市民からの寄附にこぎつけられるとありがたい。

2つ目。雑誌の本館、分館の配置の見直しをしてほしい。

3つ目。若い人に委員になってもらう。中学、高校生、20代の枠を作ってもいいかも。平日は、授業と重なるので、土曜日、日曜日などにするのもいいかもしれない。

委員 図書館として、災害時の対応はどうしているのか？

事務局 図書館としては特別な対応はないが、2つの地区の避難場所になっている。

委員 学生の資料を見ても20代30代が弱いと出ていたので、司書が足りないのであれば、30代の人や夜勉強しに来た方などに協力してもらって生涯学習のスタイルもあるのでは。

委員 ブックダイアログについて協力された委員さんから説明してほしい。

委員 テーマに関するものだったら何でもいから持ち寄って、楽しみ方、感じたこと等を話し合う。

SNSでの募集に申し込みがあった。本日、FMジャングルでも紹介してもらった。

委員 読み聞かせに使いたい本が豊岡にはあったが、あまり早く借りると期限が過ぎると思っていたら、実は一旦県立図書館を経由してくると言うことだった。

事務局 他市町の本を養父市の図書館で借りるには、県立図書館を経由するので、2週間くらいかかる。

委員 印象として但馬管内なら養父市の図書カードで借りられると思っていた。電子書籍を取り扱っているのか？(返答:扱っていない)そういうことも含めて課題が山積み。図書館の数はいっぱいあるが、実際にニーズに答えているのか？職員が少ない。予算がない。

委員 学校代表で来ている。人事、予算が障害になっているのなら、この協議会に関係の方が来られたらどうか。念願の図書館ができた。小学校の子どもに図書館に行くか聞くが、子どもだけでは借りに来られない。親の興味があれば行くけど、図書館を知らない状況である。広報で、仕組みとか利用の仕方等シリーズにして連続で知らせてはどうか。テーマに応じて、作者の本が借りられるという仕組みがあればいいと思う。電子書籍のサービスも便利なようだが、タブレットがないと大きな画面で見られない。自分としては紙媒体で読みたい。学校としてももっと利用し易い仕組みがあればいいと思う。

事務局 さっき2週間だと短いという話があったが、団体カードを作れば、1か月借りられる。学校が学年別にこの本、1年の間に借りて読みましょうというリストを作っているらしく、この本ありますかとの問合せが多い。そのリストが分かっているれば、図書館としても複数用意することができる。

委員 以前、学年ごとのお薦め本というのを図書担当が選定されて、ずっと受け継がれていた。逆に、図書館の方から小学校から中学校の間のお薦め本を教えてもらう等、情報交換が大事だと思う。

会長 読み聞かせボランティアでも特に高学年の選書は悩みの種。以前アイウエオ順にこの本はこの図書館にあるというリストを作ってもらったことがある。学校ともそうだが、読み聞かせボランティアとも連携して図書を購入していただくのもすごくいいと思う。

委員 図書館協議会のメンバーは幅広く集めてほしい。高校、大学生を取り込む。読書大好きな人が読書大好きな図書館を創りあげるのとはちょっと違う。こういう会議に、できるだけ幅広い年代の人たち、

カードは持っているけど年間1回しか来ない人、何で私みたいな人が選ばれたの?というような人が複数いたら、面白い会議になるのではないかな。選ばれることで、図書館に興味を持ってもらえる。多くの方に愛されたらいいなと思う。

委員 読み聞かせを行っているので、絵本作家の公演会や図書館で本の紹介をしてもらったら、行ってみようと思う人も出てくるのでは。ワークショップも考えていただければいい。

副課長 まちづくり文化交流課が展示室で原画展を予定しているので、図書館も関連本を展示する。

委員 図書購入費、潤沢に予算があるのか?足りないようなら、民間企業にスポンサーになってもらう。雑誌も各種置いてほしい。あと、リクエストのカウント数を教えてほしい。

事務局 リクエストされた段階では、購入するか相互貸借になるか分からないが、カウントに入る。但し、貸し出した段階でそのリクエストは消化されるので、リセットされる。一度に5冊リクエストされると図書館側の負担が重くなるので、少しずつリクエストしていただけるとありがたい。

事務局 企業からのスポンサー制度はあるが申し込みがない。

委員 人事のことで、大屋の方に司書が行かれたということですが。

事務局 一人大屋の方が退職されて補充という形で行った。

委員 なぜここから引き抜いていったのか?相談があつてしかるべき。次年度は採用があるのか?

事務局 次年度も会計年度職員を採用しようと思っている。

委員 職員の対応が1年契約とは不安定だ。

委員 2人くらい正規司書の方がおられる方がいい。風太郎記念館が開館20年となっている。予算の関係でなかなか有名な方に講演に来てもらえない。13年前に風太郎賞ができた。角川が全部やってくれる。編集者が1人ついてくる。講演者の旅費、宿泊、講師料10万円くらい。100人程度となるとこの大会議室。300人くらい集客するのも大変。作家の方に近い所で話が聞けてよかったとの声がある。

事務局 何かできることをやっていく方向である。

委員 さっき小学校の児童が図書館にあまり来てないと聞いた。スマホの図書館利用案内を小学生向けに詳しくしてあげればいいのかと思う。利用案内もどんどん蓄積していく方向でお願いしたい。もう一つ、スポンサー制度は、個人はダメ、企業はOK。すでに入っている本というくくり。すでに公金で購入している雑誌にわざわざスポンサーになる企業はないと思う。入っていない雑誌の希望があれば受け入れて、雑誌の数を増やす方向で考えれば私も考える。

委員 読み聞かせをして1か月借りられる。100冊。団体にカードを複製ができないのか?いつから100冊になったのか?

事務局 開館時から100冊になっている。

会長 移住者はケーブルテレビをよく見ている。図書館を利用してもらうのに広報が有効だと思う。

副会長 2年の任期で、これで最後です。このように意見を言う場があるということはいいい。読書愛があると感じる。今後ともよろしくお祈いします。